

授業科目 筋生理学

【担当教員名】 笹井 宣 昌		対象学年	2	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：GIO】 本講義では、骨格筋の構造や機能に関する基本事項について学習する。骨格筋が身体運動における動力源として働くことは、説明するまでもない。また、骨格筋が運動により鍛えられ、逆に不使用により衰えることも、よく知られたことである。 では、「それらの現象は、どのようなメカニズムにより発現しているのだろうか？」この点について理解を深めることは、ヒトの身体活動や健康を理解するために役立つであろう。					
【学習目標・行動目標：SB0】 「運動と骨格筋」、或いは「運動による骨格筋の適応」といったことを念頭に、骨格筋における構造－機能の連関や、可塑性変化について学習する。さらに、それらに関わる細胞・分子メカニズムをかいま見る。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	筋収縮と構造				講義と演習
2	筋収縮の調節				講義と演習
3	筋収縮のエネルギー				講義と演習
4	肥大と過形成				講義と演習
5	萎縮				講義と演習
6	活動性と遺伝子発現調節				講義と演習
7	加齢変化				講義と演習
8	まとめ				講義と演習
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		運動と筋の科学（現代の体育・スポーツ科学）		勝田茂 編	朝倉書店 2000
その他の資料					
【評価方法】 出席と小テスト			【履修上の留意点】 ・本講義は集中型で行います。 ・黒、及び赤色のボールペンを持参して下さい。小テストで使用します。		